

長洲小だより 第9号

発行 長洲町立長洲小学校
長洲町長洲1776番地
Tel. 0968(78)0109 fax (78)7103



令和4年9月16日(金)

季節の移ろい

ここ数日、朝晩は涼しく感じています。秋がすぐそこまで来ているようです。

9月8日(木)は二十四節季でいうところの「白露」でした。白露(はくろ)とは、夜中に大気が冷え、草花や木に朝露が宿りはじめると意味しています。降りた露は光り、白い粒のように見えます。これから日中の暑さも和らぎはじめ、だんだんと秋の気配が深まっていきます。

そういえば、10日は中秋の名月でしたね。筆者拙宅では二十四節季の催しを大切にしている、当日は玄関先に、すすきははじめお団子やぶどう、梨等をお供えして月見をしました。外は涼しく筆者は少しだけお酒も嗜みました。

最近時間の速さを痛感しながらも、平和な時間に感謝しつつ、自分自身を振り返っています。

5年生宿泊教室終了

夏休み明け8月31日(水)から9月1日(木)にかけて、5年生の集団宿泊教室が行われました。行先は熊本県立あしきた青少年の家です。1泊2日という日程で行われましたが、子供達にとっては多くの学びがあった行事でした。

子供達は学んだことを振り返り、これからの生活にどのように活かしていくか、また、解決すべき課題について等々の話し合いがスタートしたようです。

あしきた青少年の家では、「共感」「交流」「向上」を活動の視点として掲げてあります。この視点に立ち子供達自身で振り返りをしていくようです。この様な行事には、普段の学習では得ることのできない「学び」があります。学習の場であることを意識していた子供達には、お金では買えない多くの学びがありました。先に述べた通り、この学びを今後活かしていくためには、振り返りが大切です。そして、後輩達につながる責任といえるでしょう。

活動の様子(写真)を少しだけ紹介します。

浜辺にて(磯遊び)



水俣病資料館



ニュースポーツ (シャッフルボード)



プラホビー製作



感染防止対策の徹底を！

9月5日、6日、7日の3日間、長洲小学校の1年生は学年閉鎖でお休みでした。学校生活の中でのコロナウイルス感染の可能性が高かったため、これ以上の感染拡大を防ぐための決断でした。学校という場所は、人が集まって活動する場面が多く致し方ないとは言え、今回のコロナウイルスの感染力の高さには驚くばかりです。

熊本県の感染傾向は、ここ数日減少傾向に転じていますが、油断は禁物です。

そこで、読者の皆様にお願いです。今後、学校では多くの行事が予定されており、それらの行事を子供達は楽しみにしています。感染状況によっては行事に参加できなくなったり、最悪の場合行事を中止したりすることになります。それゆえ子供達自身が感染拡大防止の主体者となって頑張っているところです。今後とも、これまで以上に感染防止対策を徹底して頂きますようお願い申し上げます。

校門一礼の話

長洲小学校の子供達は、登校時、正門等の入り口付近で一旦止まって、学校に向かって一礼してから入って行きます。初めてこの光景を見たとき、感激してしまいました。筆者自身もこれまでの生活の中で同じようなことを経験して参りましたが、小学校時代はこのようなことはありませんでした。思うに、これまで長洲小学校の卒業生や先生方が、長洲小学校を愛し、誇りに思っていて活動してきたその伝統が今に引き継がれているのだなと感じます。これからも代々受け継いでいって欲しいものです。

地域のご支援ご協力に感謝

先日、1・2年生教室の前付近から南の方(学級園方向)を眺めてみますと、ちよっと印象が変わっていました。近づいて見るときれいに草が刈ってありました。実はこれ、近所に住まわれていらっしゃる前田さんがボランティアで刈ってくれたのでした。改めて感謝の気持ちが湧いてきた場面でした。

長洲小学校はコミュニティ・スクールとして、地域の皆様から多くの応援、ご支援ご協力を頂いています。感謝の気持ちで一杯です。今後、応援してもらってばかりでは心苦しいので、地域に対して何らかの「貢献」活動ができないかと考えているところです。地域と学校のWIN-WINの関係を目指していきたいですね。